

令和8年度

# 第1回 多文化共生の地域づくりコース

共催:(一財)自治体国際化協会(CLAIR)

この研修は、地域における多文化共生の課題を分野別に学び、自治体やその関係団体が施策を展開する際に、多文化共生に配慮できるよう理解を深めます。

また、外国人住民と共に、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築きながら共に地域で暮らしていく多文化共生の地域づくりに必要な人材の養成を目的に実施します。

## 研修のねらい

- 多文化共生に関する基礎知識を習得し、地域における課題を分野別に理解する。
- 外国人住民の持つ多様な文化や価値観を理解する。
- 各部局において、多文化共生の地域づくりを意識しながら職務を遂行できる能力を身に付ける。

※修了者の方を「JIAM多文化共生地域づくりサポーター」に認定します。

## 開催要領

日 程

令和8年8月24日(月)～8月28日(金) (5日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

- 市区町村・都道府県の職員、地域国際化協会・市区町村国際交流協会職員で、多文化共生に関心のある方(国際・多文化共生担当課以外の方も受講できます。)
- 地方公共団体や地域国際化協会と協働実績があるNPOまたはNGOの職員の方で、地方公共団体や地域国際化協会から受講推薦を受けた方

5日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

※議員の方も参加可能ですが、市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、お申込みは必ず議会事務局を通じてお願いします。

募集人数

40人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

15,150円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食4回、昼食5回、夕食4回)、資料代等を含みます。一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR)からの助成(研修環境費2,000円/日)後の額です。CLAIRの助成対象外の方は、25,150円です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和8年7月13日(月)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

※NPO、NGOの職員の方がお申しいただく場合は、受講推薦書が必要になります。受講推薦書はJIAMホームページの書類様式集からダウンロードしてください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途にメールで通知をお送りします。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] https://www.jiam.jp

令和8年

8月  
24日(月)

- 11:00~ 入寮受付・昼食  
12:30~ 開講・オリエンテーション  
13:00~14:10 **講義** 地域における外国人との秩序ある共生社会の実現に向けて  
総務省 自治行政局 国際室 室長 黒田 夏子 氏  
14:25~17:00 **講義** 多文化共生施策の現状と課題  
~多様性を可能性に!地域社会から考える~  
武庫川女子大学 教授 吉富 志津代 氏  
17:30~ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

令和8年

8月  
25日(火)

- 9:25~10:35 **事例紹介** 市町村における多文化共生施策  
熊本県菊陽町 総務部 総合政策課 企画政策係 係長 早田 健太郎 氏  
10:50~12:00 **事例紹介** 災害時対応  
城陽市国際交流協会 事務局長 大久保 雅由 氏  
13:00~15:35 **講義** 学校の教育支援~地域と学校の連携~  
京都教育大学 国文学科 教授 浜田 麻里 氏  
15:50~17:00 **演習** 講義ふりかえり・討議  
京丹後市国際交流協会 事務局長 麻田 友子 氏

令和8年

8月  
26日(水)

- 9:25~10:35 **講義** 外国人に対する日本語教育施策の動向  
文部科学省 日本語教育課 日本語教育調査官 増田 麻美子 氏  
10:50~12:00 **事例紹介** 生活相談  
(公財)名古屋国際センター 事業課主査(多言語・相談) 相談コーディネーター  
加藤 理絵 氏  
13:00~14:10 **講義** 在日外国人における高齢者の現状・課題  
外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト 代表 木下 貴雄 氏  
14:25~15:35 **事例紹介** 在日外国人における高齢者の現状・課題  
NPO法人エルファ 事務局長 南 珣賢 氏  
15:50~17:00 **演習** 講義ふりかえり・討議  
京丹後市国際交流協会 事務局長 麻田 友子 氏

令和8年

8月  
27日(木)

- 9:25~12:00 **講義** 医療・母子保健  
公益財団法人 かながわ国際交流財団 多文化共生グループ 福田 久美子 氏  
13:00~17:00 **演習** 討議・発表資料作成  
京丹後市国際交流協会 事務局長 麻田 友子 氏

令和8年

8月  
28日(金)

- 9:25~14:10 **演習** 発表・講評・ふりかえり  
京丹後市国際交流協会 事務局長 麻田 友子 氏  
14:10~14:40 **研修アンケート記入、閉講**

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

研修ファシリテーターの紹介

京丹後市国際交流協会 事務局長 麻田 友子(あさだ ともこ)氏

2008年11月から京丹後市国際交流協会に勤務。2012年に多文化共生マネージャーとして認定を受ける((一財)自治体国際化協会)。「京丹後市多文化共生推進プラン」策定時には、第1次(2014年)~第3次(2022年)とも策定委員会の事務局を担当した。2016年4月熊本地震での「災害時多言語支援センター」の活動にも参加。現在は本務の他、特定非営利活動法人多文化共生マネージャー全国協議会理事及び京都府地域日本語教育コーディネーター・京都府災害時外国人支援コーディネーターを務める。また、2024年から文部科学省地域日本語教育アドバイザーを務める。

■一般財団法人自治体国際化協会が下記のとおり助成します。

①地方公共団体に属する職員……研修環境費の一部(2,000円/日)を助成

※地方公共団体に属する職員については、研修環境費のみの助成となっておりますので、ご注意ください。

②地域国際化協会、市区町村の国際交流協会に属する職員……研修環境費の一部(2,000円/日)及び往復交通費の全額を基準とした額を助成

※助成金に関する詳細は、一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR)多文化共生部多文化共生課までお問い合わせください。

TEL:03-5213-1725 FAX:03-5213-1742 ホームページ:<https://www.clair.or.jp/j/multiculture/jiam/index.html> E-mail:tabunka@clair.or.jp